

こだま俳壇(三月句会)

雛飾り夫婦の会話ふえにけり
三代目の新作和菓子風光る
はじめての靴の一步や風光る
菜畑やチ　ウチ　が老女追いかける
春風やビニ　ル袋道渡る
亀鳴いて不老長寿と聞こえけり
春風にコンテナ船が行き交いぬ
微笑みを絶やさぬ人や風光る
鳥帰る寅さん帰る茶の間かな
鳥帰る率いる長に迷いなし
夢に見る砲弾の音春嵐
風光る海辺の力フ　のサザンかな
風光る遠くに眺む大型船
ミモザ活け友へふみ書く夕べかな
登戸に虚しき戦の資料館
霜柱ぐち　ぐち　にして子らは去る

島田多嘉子
松尾佐知子
中野みどり
並木まり子
白井保次郎
高橋　和江
大塚　敏高
友井　眞言
瀧澤　正行
田中　一男
中村　桂子
角田英昭
常世田芳子
小室　豊子
後藤　貞夫
柳瀬　節子

風光る一氣に崩す組体操

講師

太田土男先生